

利根中央病院

第35号
2014年新年号

病院 だより

企画発行 利根中央病院地域連携室
〒378-0053 群馬県沼田市東原新町1855-1
電話 0278-22-4325(直通) FAX 0278-22-4393
URL <http://www.tonehoken.or.jp/>

理念と方針

理念 安心と安全 参加と協同
患者中心のチーム医療

方針 救急体制の充実、いつも安全確認
絶やさぬ笑顔
診療情報提供と共に作る診療計画
広げよう人と人との結びつき
すすめよう健康づくりまちづくり

謹賀新年



-
- 新年あいさつ 院長 糸賀 俊一
 - 2014年4月よりDPC対象病院になります 利根中央病院DPC委員会
 - 無料低額診療事業紹介 利根中央病院相談支援室 MSW 杉木 千浪
 - “リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013ぐんま”に参加しました
 - 新病院建設進捗状況 新病院建設事務局長 布施 正子
 - 地域連携室・相談支援室紹介
-

あけまして
おめでとうございます

利根中央病院
院長 糸賀 俊一



利根中央病院は、2014年は利根中央診療所設立から数えて60年の節目の年になります。病院にとって多くの課題と向き合いながら進んでいく年になりそうです。

昨年11月には新病院建設が始まり、今年には新病院の機能整備に向けた検討を開始し竣工後に病院機能を充分発揮できるよう準備する年になります。

更に4月からはDPCを導入し急性期医療の質の改善を目指し、医療の体制が変化します。

医療体制では、消費税率が5%から8%に増加そして医療・介護の保険料は値上がりします。たとえば、70～74歳は医療費の窓口負担1割が2割に上がります。また、保険点数の改訂では消費税が3%上がるのにもかかわらず、医療費は1%の上昇に抑えられるようです。実質マイナス改定になり、患者さんの負担は増加し医療者の収入は減少するという厳しい状況になりそうです。

医師体制では、初期研修医終了予定の2名は後期研修をそれぞれ県外の病院で行うことになりましたが、新たに2名の初期研修医が赴任する予定になっています。また2年後の総合内科、後期研修プログラム開始に合わせて、当院でも総合内科を立ち上げ、研修体制を構築するため、新たな指導医が赴任することになっています。ただ残念なことに、大学よりの産婦人科医師の派遣が困難になり、夏までに新たな産婦人科常勤医師の獲得が必須の課題となっています。このように多くの課題と同時に向き合いながら、利根沼田地域の医療を利根中央病院として守っていくために、組合員の皆様と職員全員で取り組んでいきます。

2025年体制に向けて医療体制が大きく変化していく本年に、病院が今後どのように対応していくかを問われる年になります。私たちにとっては、新病院建設に向けてステップする年になります。これからは安心して暮らせるまちづくりに貢献していくには、地域の多くの皆様との連携なしには、課題を乗り越えられないと考えております。新年にあたり、今後とも更なるご指導をお願いし、皆様の健康と繁栄をお祈りして新年の挨拶といたします。

本年もよろしくお祈りいたします。

2014年4月よりDPC対象病院になります

利根中央病院DPC委員会

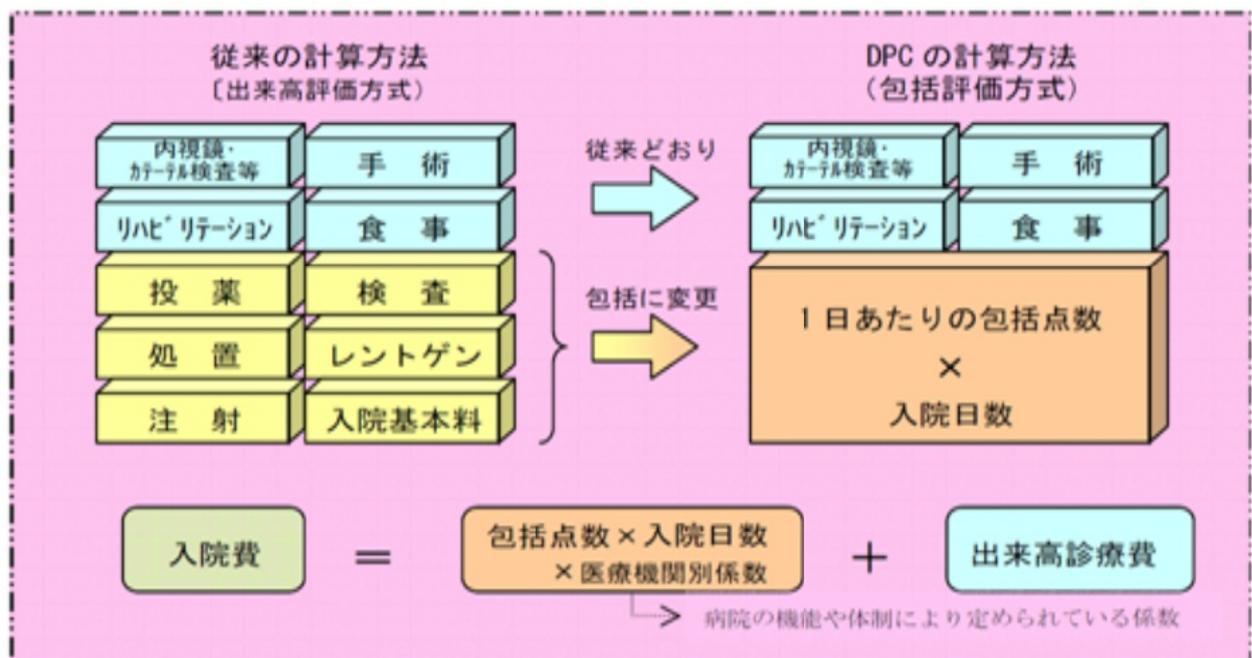
来春、2014年4月より利根中央病院の入院医療費の計算が、「DPC（診断群分類による包括払い）」による計算方式に移行します。なお、現在は診療行為ごとに医療費を計算する「出来高払い方式」となっています。

DPCは、入院患者さんの病名や症状をもとに、厚生労働省が定めた「診断群分類」ごとに決められた1日あたりの定額の医療費を基本として全体の医療費の計算を行なう方式です。

定額の点数（料金）には、入院料や投薬・注射・検査・処置等が含まれますが、手術・リハビリ・内視鏡、一部の検査・処置等は従来どおりの「出来高払い方式」で計算されます。この他に食事代や自由診療がある場合は別途費用がかかります。

現在、全国の1505病院、一般病院の53%がこのDPCを取り入れています。DPCによる全国のデータに基づき、医療の質の向上・標準化、医療内容の情報公開による病院機能の透明性を追及していきます。

（参考）イメージ図



無料低額診療事業について

利根中央病院 相談支援室
MSW 杉木千浪



利根保健生協では無料低額診療事業の準備をすすめ、2013年10月1日より利根中央病院で開始しました。この無料低額診療事業は、生計困難なかたが経済的理由で必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、無料または低額な料金で診療を行う事業として社会福祉法に位置付けられています。

無料低額診療事業を利用するには、受付 面接 申請 決定の手順ですすすめます。まずは相談支援室のソーシャルワーカーにご相談ください。面接をして、お身体や生活状況（家族構成・就労状況等々）についてお話を伺いし、申請に必要な書類の作成を行い、生活保護基準の140%未満の場合、無料低額診療事業の適用となり、医療費の自己負担金を減額または免除します。

また、この事業は、生活改善までの一時的な措置のため、対象となる方とソーシャルワーカーが定期的に面接をして、公的な制度や社会資源を有効に活用していけるよう一緒に考えていきます。

- *保険証がない
- *リストラ・失業などで収入が一時的になく医療費の支払いに困っている
- *医療費が支払えずに治療を受けずに困っている人がいる

以上のような医療費の問題で困っている方は、ぜひ相談支援室にご相談ください。



H*PE
RELAY FOR LIFE
JAPAN
CANCER SOCIETY

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013 ぐんま

リレー・フォー・ライフとは、がんに立ち向かう日々思いや体験を語り合い、リレー形式で24時間歩きながら寄付を募るチャリティイベントです。

開催日 2013年10月12日(土) 12:00
～ 13日(日) 12:00

開催地 群馬総合スポーツセンター ふれあいグラウンド
(群馬県前橋市岡根町800番地)

“リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013ぐんま”に参加しました

昨年10月、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013ぐんま」が群馬県で初開催されました。当院からは塚越先生（外科）、江口（診療情報管理課）杉木・鈴木（医療相談室）の4名が参加しました。

本来ならば24時間歩き、リレーを繋ぎたかったのですが参加者が少なく1日目の夜までの参加にとどまりました。

来年はもっと多くの方々と24時間リレーを繋げられるように・・・と思っています。



夢をかたちに

シリーズ「新病院建設」No.4 進捗状況

新病院建設事務局長 布施 正子



新病院建設は2013年11月6日に地鎮祭を執り行い着工致しました。工期21ヶ月、2015年7月竣工予定です。現在基礎工事が進行中です。

今回は外来についてご紹介します。

外来部門は1、2階に配置され、外来専用エレベーターを1機設けました。各外来ブロック中央にスタッフ導線を設け、効率よく診察介助を行ったり、患者導線とスタッフ導線が出来る限り交わらないよう配慮しました。患者待合表示システム、自動会計システムを導入し、待ち時間対策やかかりやすさの追求を行っています。

災害拠点病院としての機能向上として、中央玄関前には庇を張り巡らせSTRTトリアージ環境を整えたり、1階外来の待合ホールには医療ガス配管を巡らせるなど、ハード的整備を図りました。



日々着々と工事が進んでいます

2013.11.6地鎮祭が行われました



2013/11/06

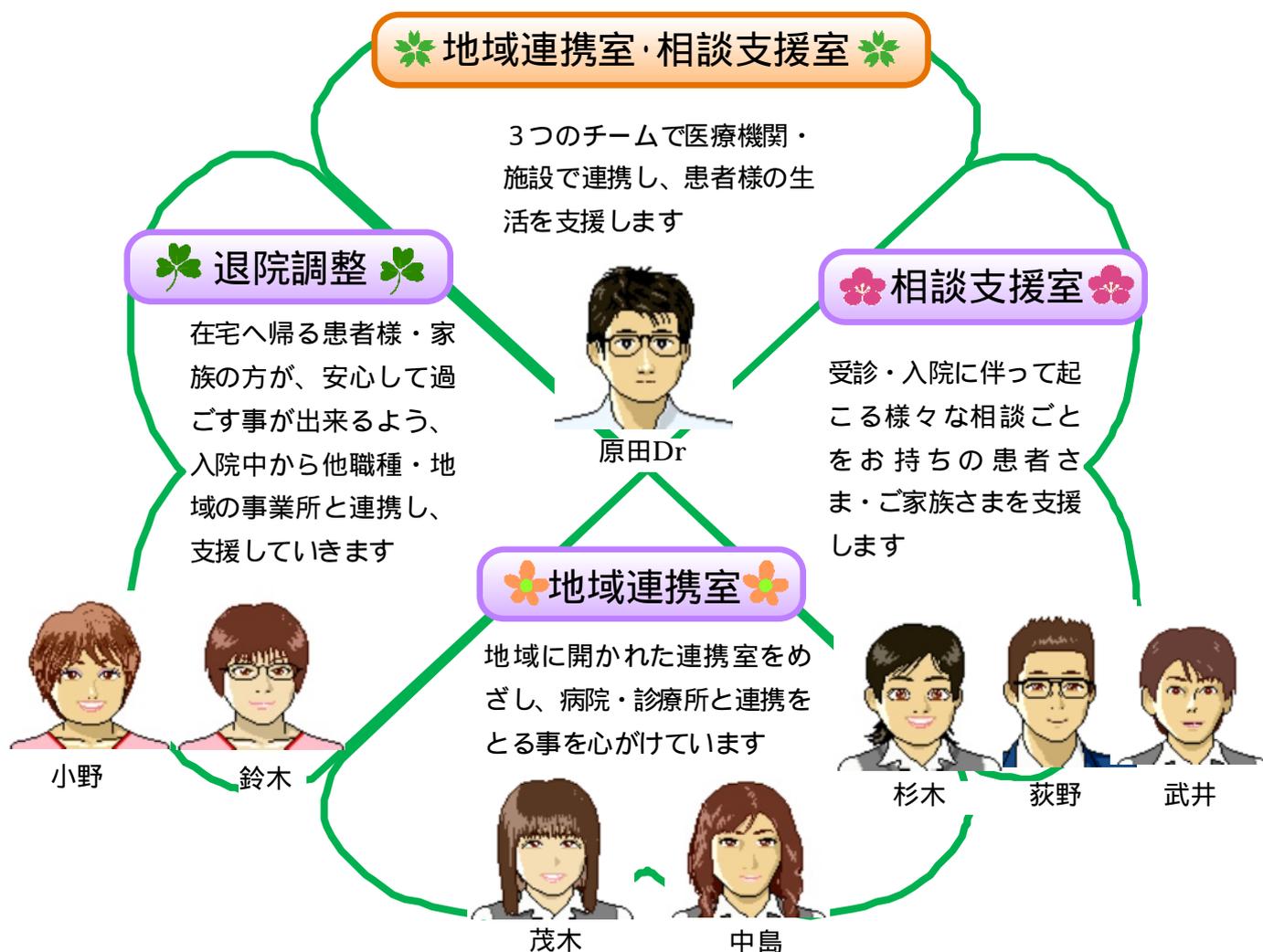
地域連携室・相談支援室紹介



昨年は1月にMSW1名、4月に退院調整看護師1名が増員され、さらに9月には地域連携室事務員が1名交代しました。増員に伴い、より一層患者様に効率的な医療を提供し、円滑な病診・病病連携を図ることが出来るよう努めて参ります。

地域連携室・相談支援室では医療機関・施設からの紹介患者様の診療・検査の予約をはじめ、紹介状や返書の管理、お問合せの対応や入院・転院の相談、医療機関・施設との連携業務、患者様・ご家族様からの相談対応等を行っております。ご紹介頂く患者様には、可能な限り柔軟で細やかな対応をさせていただきますので、是非地域連携室・相談支援室をご利用頂きますようご案内致します。

2014年も地域に開かれた病院を目指し、職員一同奮闘して参ります。本年も宜しくお願い致します。





画：内科医師 深澤尚伊

ぐんまちゃんではないキャラクターも混ざっています。探してみてください。

本年が皆様にとって輝かしい1年になりますようお祈り申し上げます。